

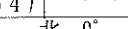
ボーリング柱状図

調査名 一本松川護岸現況調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 6			調査位置		福岡市城南区長尾5丁目外地内				北緯		33° 33′ 31.1″							
発注機関	福岡市 道路下水道局 建設部 河川課				調査期間		平成 23年 9月 28日 ~ 23年 12月 26日				東経		130° 22′ 41.1″						
調査業者名	日本地研株式会社 電話 (092-571-2764)			主任技師		橋本 圭太郎		現場代理人		山口 敏史		コア鑑定者		山口 敏史		ボーリング責任者		田代 守	
孔口標高	GH=+4.15m		角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		D0-D		ハンマー落下用具		コーンブーリー			
総掘進長	9.00m									エンジン		KUBOTA EA10-EN		ポンプ		BG-3B			

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験(掘進)			
											深	10cmごとの			打撃回数／貫入量	N	値	深	試験名		深	試料	採取
												度	0	10									
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	密	稠	事		(m)					(m)	番号	方法	(m)	日			
1	3.65	0.50	0.50		砂	褐灰			表層はφ50~200mm程度の玉石が点在する 砂は細砂~粗砂を主体とする 試料は軽い指圧で凹む程度の硬さ腐植物片を少量混入する φ2~5mm程度の細礫を少量混入する	1.15	1	1	3	5/30	5								
	2.75	0.90	1.40		砂混じり粘土	青灰	中ぐらい		1.45														
	2.15	0.60	2.00		砂	暗青灰			2.15		4	5	7	16/30							16		
2					砂	暗青灰			砂は細砂~中砂主体 細粒分をブロック状に混入する φ2~20mm程度の亜角礫を少量混入する	2.45													
3					強風化花崗岩	褐灰	中ぐらい	密な	花崗岩の強風化帯(土砂状) 風化進行するが岩組織は認められる 試料は半固結土状を呈するが軽い指圧で土砂状となる 長石は風化によりシルト状を呈する GL-4.05m~GL-4.25m間はアブライトを礫状に介在する 岩級区分はD級である	3.15	7	10	17	34/30	34								
4				4.15						13	14	11	38/30	38									
5	-0.85	3.00	5.00	4.45						18	25	7/2	50/22	68									
6					風化花崗岩	褐灰	非常に密な		花崗岩の風化帯(軟岩相当層) 風化進行するが上位より固結度は高い 岩組織は明瞭に認められる 試料は半固結土状に採取されるが軽い~中ぐらいの指圧で土砂化する 岩級区分はD級~CL級である	5.15													
7				5.37						17	26	7/2	50/22	68									
8				6.15																			
9	-4.85	4.00	9.00							6.37	31	19	5	50/15	100								
										7.15													
										7.30	18	25	7/2	50/22	68								
										8.05													
										8.27													
										9.05	20	31	51/20	77									
										9.25													

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。